

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
	ウロボロス		年齢	18	性別
オプション					
覚醒	命令	衝動	吸血	初期侵食率	32%
出自	兄弟：慶	経験	力の暴走	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	2	1	0			3	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	0	1			5	戦闘移動	14
社会	0	0	1			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
《無形の爪牙》	白兵	3r+3	1	LV+2		マイナーで使用／コスト3
血影の演者<マリオネット>	白兵	9r+3	1	3+28		コスト12。攻撃+31。HP2消費。
血影の演者<マリオネット>@100	白兵	9r+3	1	4+32		コスト12。攻撃+36。HP2消費。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
兄貴	P 傾倒	N 劣等感			
兄貴の相棒	P 尊敬	N 嫉妬			
昇野レイボウズネーク(シナリオ)	P 同情	N 不安			
フクロウ支部長	P 尊敬	N 不安			
愛美ちゃん	P 庇護	N 不安			
柏下さん	P 好意	N 無関心			
ダンさん	P 有為	N 脅威			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
無形の爪牙(5+2)	1	3	マイナー				-	
効果：	素手データ変更							
コンセントレイト：ウロボロス(3)	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果：	C値を-LV							
無形の影(1)	1	4	Xジャー	-	-	-	-	
効果：	あらゆる判定と組み合わせ可。【精神】置き換え。1R1回。							
シャドーテンタクルス(1)	1	1	Xジャー	※	-	対決	-	
効果：	組み合わせた白兵攻撃の射程10m、《無形の影》がある場合は視界に変更							
シャドースクラッチ(5+2)	7	2	Xジャー	-	-	対決	-	
効果：	攻撃+[LV]、《無形の影》ありで+[LV*4]							
原初の赤：鮮血の一撃(5+2)	3	2+1	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果：	HP2消費。ダイス+[LV+1]個							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「“普通の人間”らしくって、どーしたらいいのかわかんないよ」
 「でも、そんなこと考えずに過ごせるひとたちって、やっぱすごいなって思うし、少し羨ましい」
 「憧れてるわけじゃないよ。自分が持ってないものが、異様で異質で、特別に見えるだけ」

ながつき ゆい
 あたし／君、あなた、お前。少しがさつだが学校ではそこそこ“普通”を装おうと努力している。

出生は自分ではよく分かっていないが、どうやら何処かの研究所から引き取られてきたらしい。幼い頃に双子の兄と共にUGNに引き取られ、それからずっとUGNチルドレンとして育てられている。しかし能力の発現が顕著だった兄とは対照的に、実戦に使えるような能力がほとんど現れなかった。(※レネゲイドの感染は確認されている)

そのため4年ほど前から一般の学校に通い、日常を知るための訓練を受け始めていた。長いこと施設内のことしか知らずに育ったため、学校という場所には戸惑いがあった。それでも発見や学びが多く新鮮で、いつしか学校という場所が大好きになっていった。

2年前のとある日、学校内で突如能力が発現、暴走。実体を持った影が暴れ、複数の死傷者を出すことになってしまう。当然その学校にはいらなくなり、全ての生徒達の記憶からは抹消される。その時になってようやく、「自分は他の人間たちとは異なる」と自覚した。影が暴れたという証言が曖昧で、赤黒いものが蠢いたという声からブラム＝ストーカーの能力者だとされる。それが実際にはウロボロスであったことが判明したのは、比較的最近になってからだった。2年ほどの休学、及び能力の訓練を経て、再び学校に通えるようになったが、能力者のいない学校に通うことに少し怯えている。(→宝条君がいるからいなくはない、UGN関係者？がないこと、かもかもしれない)